

寄稿



2024年12月日銀短観の結果からみる 高知県の景気動向と先行きの展望

日本銀行 高知支店
支店長 永幡 崇

1. 業況感

2024年12月に実施した全国企業短期経済観測調査（高知県分）において、企業の足もとの業況感を示す業況判断 D.I.（最近）（以下、最近の業況判断 D.I.と表す）^{*1}をみると、全産業は+12となり、前回9月調査から+1ポイント改善しました。業種別にみると、製造業が+12ポイントの改善となった一方、非製造業は前回から▲4ポイントの小幅悪化となりました。

今回調査における最近の業況判断 D.I.の特徴を整理すると、まず製造業では、価格転嫁の進捗に伴う収益改善や、新規受注の獲得等を要因に改善しました。

一方、非製造業では、新規工事案件の獲得等が改善要因として聞かれた一方、人件費上昇に伴う収益の下押し、夏場にみられた防災関連需要の反動等から、業況感は小幅に悪化しました。

3か月後の業況判断 D.I.の予想（以下、先行きの業況判断 D.I.と表す）は、全産業で+12と、今回調査から横ばいで推移する見込みとなっています。業種別にみると、製造業が今回調査から+17ポイント改善する見込みである一方、非製造業は▲7ポイントの悪化見込みとなりました。

まず製造業では、新規受注の獲得による生産量の増加期待、価格転嫁の進捗による収益改善期待等を背景に、改善見込みとなっています。

一方、非製造業では、悪化見込みとなっています。企業からは、人件費の増加、人手不足による受注の取りこぼし、値上げによる顧客離れなどを懸念する声が聞かれています。

もともと、本統計において、先行きの業況判断 D.I.はやや慎重な見方を示す傾向があり、この結果が次回2025年3月調査における最近の業況判断 D.I.そのものを正確に予測しているとは限らないため、その評価にあたっては幅をもってみる必要があります。こうした統計上のクセを踏まえると、今回の非製造業における先行きの悪化見込みについては、割り引いて評価する必要がありますが、企業が懸念材料として挙げている要因については、引き続き、注意深くみていく必要があると考えています。

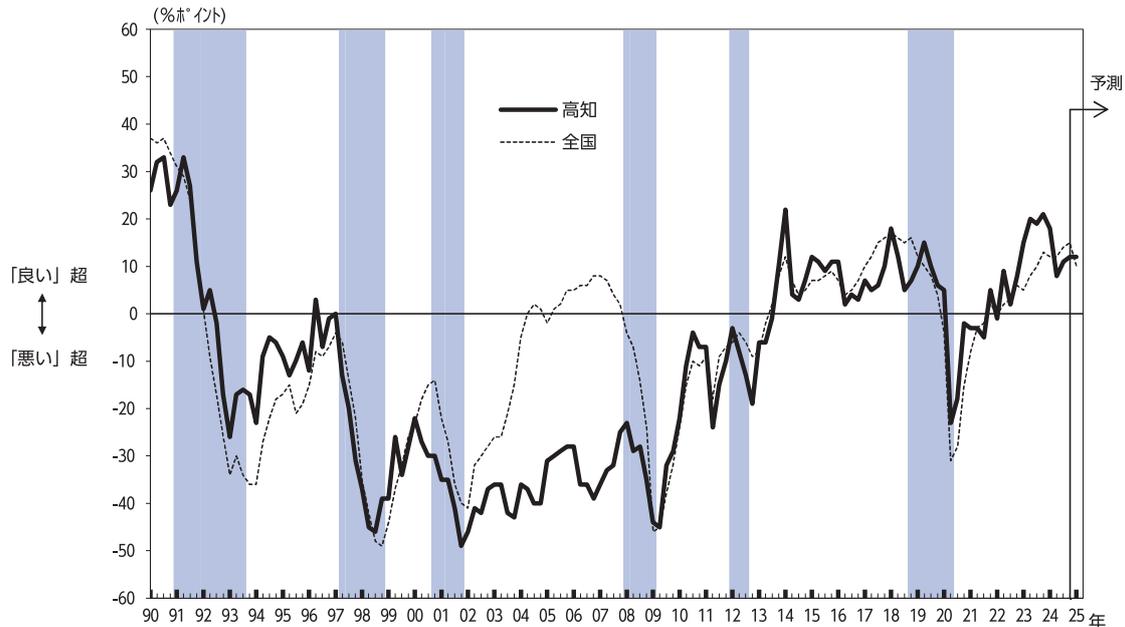
^{*1} 調査対象企業数は120社。業況判断 D.I.は、自社の業況が「良い」と答えた企業の割合から、「悪い」と答えた企業の割合を差し引いて算出。

(図表1-1) 業況判断 D.I.

(「良い」 - 「悪い」社数の構成比・%ポイント)

	2023/12月	2024/3月	6月	9月	(前回の 12月予測)	12月		2025/3月	
						最近	変化幅	先行き	変化幅
全産業	21	18	8	11	(8)	12	1	12	0
社数 構成 比 (%)									
①良い	29	28	21	23	(18)	23	0	23	0
②さほど良くない	63	62	66	65	(72)	66	1	66	0
③悪い	8	10	13	12	(10)	11	▲1	11	0
製造業	15	6	▲3	0	(0)	12	12	29	17
食料品	10	▲10	▲10	▲20	(▲20)	▲10	10	20	30
はん用・生産用・業務用機械	17	▲17	▲16	▲16	(▲17)	▲33	▲17	16	49
非製造業	23	23	11	17	(12)	13	▲4	6	▲7
建設	42	16	16	25	(16)	33	8	25	▲8
卸・小売	14	22	8	11	(6)	3	▲8	3	0
卸売	23	30	23	7	(7)	0	▲7	0	0
小売	9	17	0	13	(5)	5	▲8	5	0
宿泊・飲食サービス	45	60	30	40	(20)	30	▲10	0	▲30

(図表1-2) 業況判断 D.I.の長期時系列推移 (全産業)



(注1) シャドーは景気後退期(内閣府調べ、以下同じ)。

(注2) 断りのない限り高知県の計数(以下同じ)。

(出所) 日本銀行高知支店、日本銀行

2. 人手の過不足感

雇用人員判断 D.I. (全産業) *2は、12月調査において▲31の「不足」超となりました。

前回調査と比較すると、製造業で不足超幅が3ポイント縮小、非製造業で横ばいとなり、全産業では2ポイントの不足超幅縮小となりました。但し、全体として不足超幅は縮小しましたが、縮小幅は僅かであり、依然として大幅な不足超、すなわち人手不足の状態にある点に変化はありません。

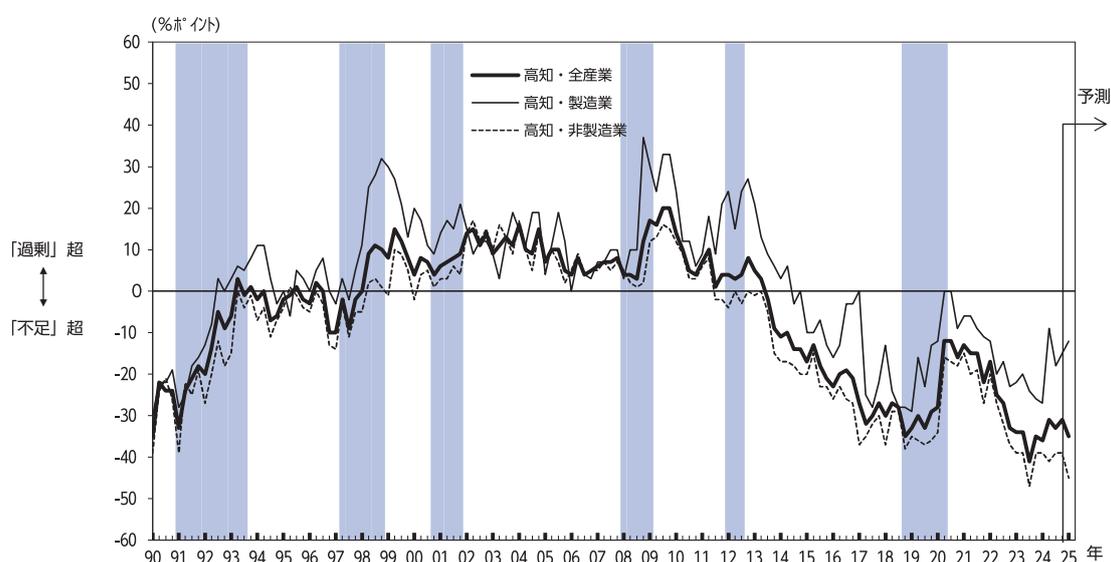
*2 自社の雇用人員の過不足感について、「過剰」と答えた企業の割合から、「不足」と答えた企業の割合を差し引いて算出。

3か月後の雇用人員の過不足感の予想をみると、全産業では「不足」超幅が4ポイント拡大する見込みです。非製造業を中心に、定年退職者等が発生する一方で、新規の人材獲得が困難であるといった声が聞かれており、人手不足感は一段と強まる見込みとなっています。

(図表2-1) 雇用人員判断D.I.

	2023/12月	2024/3月	6月	9月	(前回の 12月予測)	12月		2025/3月	
						最近	変化幅	先行き	変化幅
雇用人員判断D.I. (「過剰」-「不足」)	▲ 35	▲ 36	▲ 31	▲ 33	(▲ 35)	▲ 31	2	▲ 35	▲ 4
製造業	▲ 24	▲ 27	▲ 9	▲ 18	(▲ 15)	▲ 15	3	▲ 12	3
非製造業	▲ 40	▲ 39	▲ 41	▲ 39	(▲ 43)	▲ 39	0	▲ 45	▲ 6

(図表2-2) 雇用人員判断D.I.の長期時系列推移



(出所) 日本銀行高知支店 (以下同じ)

3. 仕入・販売価格の動向

仕入価格判断D.I. (全産業)^{*3}は、12月調査において、+50の「上昇」超となりました。前回調査と比較すると、製造業、非製造業ともに上昇超幅が拡大した結果、全産業では前回調査比+4ポイント上昇超幅が拡大しました。また、3か月後の仕入価格判断D.I.をみると、製造業で横ばいとなっている一方、非製造業では上昇超幅が拡大する見込みとなり、全産業では上昇超幅が+9ポイント拡大する見込みとなっています。

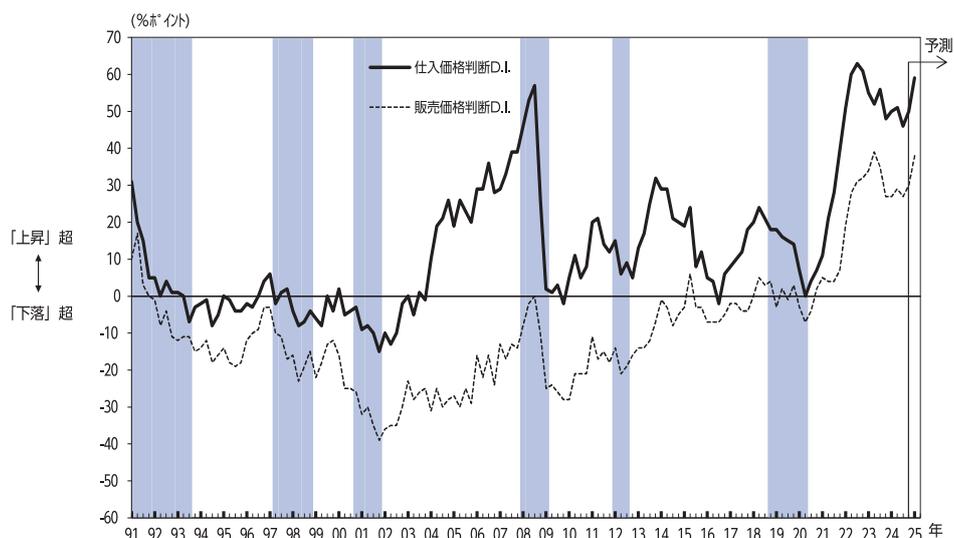
次に、12月調査の販売価格判断D.I. (全産業)^{*3}は+30の「上昇」超となりました。製造業、非製造業ともに、人件費や仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁する動きが続いており、3か月後の販売価格判断D.I.についても、+8ポイント上昇する見込みとなっています。もっとも、価格転嫁に関しては、顧客離れ等を懸念して(人件費等の上昇が続く中でも)頻繁な値上げは出来ないといった声も一部から聞かれています。

^{*3} 自社の主要原材料等の仕入価格、または主要製商品等の販売価格について、「上昇」と答えた企業の割合から、「下落」と答えた企業の割合を引いて算出。

(図表3-1) 仕入・販売価格判断D.I.

	2023/12月	2024/3月	6月	9月	(前回の 12月予測)	(ポイント)			
						12月		2025/3月	
						最近	変化幅	先行き	変化幅
仕入価格判断D.I. (「上昇」-「下落」)	48	50	51	46	(52)	50	4	59	9
製造業	47	44	53	50	(56)	55	5	55	0
非製造業	48	52	51	45	(51)	48	3	60	12
販売価格判断D.I. (「上昇」-「下落」)	26	27	29	27	(32)	30	3	38	8
製造業	18	18	21	30	(39)	33	3	33	0
非製造業	31	31	33	27	(29)	29	2	40	11

(図表3-2) 仕入・販売価格判断D.I.の長期時系列推移 (全産業)



4. 事業計画

(1) 売上高

2024年度の売上高は、前年度比+1.6%の増収計画となっています。製造業、非製造業ともに、価格転嫁の進捗が増収要因として聞かれました。また、新規受注の獲得や、新規出店に伴う売上増加を増収要因として挙げる先もみられました。

その上で、9月調査と比較した計画の修正状況をみると、全産業では前回調査比+0.5%の上方修正となりました。内訳をみると、製造業が、前回調査比横ばいとなった一方、非製造業では、新規受注の獲得、販路拡大による売上増加等から、前回調査比+0.6%の上方修正となりました。

(図表4-1) 売上高

	2023年度 実績	2024年度		(前年度比・%)			
		計画	(修正率)	2024/上期		2024/下期	
				実績	(修正率)	計画	(修正率)
全産業	+ 4.7	+ 1.6	(+ 0.5)	+ 2.8	(+ 1.4)	+ 0.4	(▲ 0.4)
製造業	▲ 2.9	+ 0.6	(0.0)	+ 0.8	(+ 1.3)	+ 0.4	(▲ 1.2)
非製造業	+ 6.5	+ 1.8	(+ 0.6)	+ 3.2	(+ 1.4)	+ 0.5	(▲ 0.2)

(注3) 前年度比や修正率の「0.0」は正・負を区分していない(集計上、「+0.0」と「▲0.0」をまとめて「0.0」と表記<以下同じ>)。

(2) 経常利益

2024年度の経常利益は、前年度比▲9.5%の減益計画となっています。内訳をみると、製造業では、価格転嫁の進捗等から増益計画となっている一方、非製造業では、人件費や物流費の高騰等から減益計画となっています。もっとも、現段階では計画を保守的に作成している先がみられるほか、設備投資の実行に伴う減価償却費の計上や、研究開発投資の増加といった、前向きな投資案件の実行を減益要因として挙げる先もみられています。

9月調査と比較した計画の修正状況をみると、全産業では▲1.2%の下方修正となりました。製造業では、価格転嫁の進捗による増収等を要因に上方修正された一方、非製造業からは、仕入価格等の上昇を理由に、利益計画を下方修正する先がみられました。

(図表4-2) 経常利益

	2023年度 実績	2024年度		2024/上期		2024/下期	
		計画	(修正率)	実績	(修正率)	計画	(修正率)
全産業	+ 3.5	▲ 9.5	(▲ 1.2)	▲ 0.5	(+ 4.2)	▲ 15.1	(▲ 4.8)
製造業	▲ 29.4	+ 3.6	(+ 2.5)	+ 28.2	(+ 13.1)	▲ 12.3	(▲ 5.8)
非製造業	+ 37.2	▲ 16.6	(▲ 3.5)	▲ 16.5	(▲ 2.3)	▲ 16.6	(▲ 4.2)

(3) 設備投資額

2024年度の設備投資計画は、前年度比+4.1%の増加計画となっています。製造業が前年度から増加計画となった一方、非製造業では減少計画となっています。

9月調査と比較した計画の修正状況をみると、製造業では、予定していた設備投資計画の一部見直し等から、幾分下方修正されました。一方、非製造業では、小売や宿泊・飲食サービス等で、新規出店や店舗改装等の計画が計上されたことから、上方修正されました。

製造業、非製造業ともに、中長期的な観点から必要な設備投資は、先行きも着実に実施されていく見通しとなっており、全体としては持ち直しの動きが続いています。

(図表4-3) 設備投資額

	2023年度 実績	2024年度	
		計画	(修正率)
全産業	▲ 22.3	+ 4.1	(+ 2.7)
製造業	+ 11.7	+ 17.5	(▲ 3.4)
非製造業	▲ 41.3	▲ 10.0	(+ 12.6)

5. 総括と先行きの展望

以上でみてきた2024年12月の全国企業短期経済観測調査（高知県分）は、日本銀行高知支店が同年12月13日に公表した「高知県金融経済概況」における「高知県の景気は、緩やかに持ち直している」との景気判断と概ね整合的な結果となっています。

日本銀行高知支店では、高知経済の先行きについても、企業・家計の両部門において、所得から支出への前向きな循環が続くもとの、緩やかな持ち直しの動きが続くとみています。

ただし、こうした先行きの見通しに対するリスク要因として、①コスト上昇と価格転嫁の動向、②人手不足の影響と賃金の動向、③海外経済の動向の影響等に注意が必要と考えています。

まず、1点目のコスト上昇と価格転嫁の動向について、最近の物価動向をみると、既往の輸入物価上昇を起点とする価格転嫁の影響は減衰してきているものの、賃金上昇等を受けたサービス価格の緩やかな上昇が続いています。この点、短観（高知県分）の12月調査でも、仕入価格判断D.I.（最近）や販売価格判断D.I.（最近）は、小幅に上昇しています。また、先行きについても、仕入価格判断D.I.（先行き）や販売価格判断D.I.（先行き）が非製造業を中心に上昇超幅を拡大する姿となっています。こうした状況も踏まえつつ、県内企業が直面するコスト上昇圧力や価格転嫁の動向について、注意深くみていきたいと考えています。

2点目は、人手不足の影響と賃金の動向についてです。まず人手不足の影響については、引き続き、幅広い業種において、企業の人手不足感が強い状況が継続しており、12月調査でも、雇用人員判断D.I.は大幅な不足超の状態が続いていることが確認されました。この間、宿泊・飲食サービスからは、「人手不足を要因にサービスの一部を制限せざるを得ない」といった声も、引き続き聞かれています。

先行きも、こうした人手不足による需要の取りこぼし等が、景気全体の持ち直しの動きに影響を及ぼさないかといった点は、引き続き注意深くみていきます。

次に賃上げの動向については、高知県内の賃上げの動きはしっかり継続していると評価しています。もっとも、足もとでも業種や規模によって賃上げの動きにはバラつきがみられていることもあり、「賃上げの持続性」については、引き続き注視していきたいと思います。

3点目は、海外経済の影響です。先行きは、海外経済が緩やかな成長を続けるもとで、生産は増加基調に復していく、というのがメインシナリオだとみています。この点、一部の製造業からは、海外向け受注がやや持ち直しているとの声も聞かれています。米国における政権交代後の政策の影響や、中国経済の持ち直しペースを巡る不確実性など、海外経済の動向を巡る不確実性は引き続き高く、当地に及ぼす影響についても、注視していく必要があると考えています。

日本銀行高知支店では、これらのリスク要素を引き続き念頭に置きながら、当地の経済動向を丹念に調査・分析してまいります。

以 上